

2024 年度
大学院（後期博士課程）

入学試験要項

文学研究科

理学研究科

国際関係学研究科



津田塾大学

TSUDA UNIVERSITY

大学院の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

津田塾大学大学院は、学部の教育の基礎の上に専門学術の理論および応用を教授研究し、その深奥をきわめて文化の進展と人類の福祉に寄与し、社会に貢献することを目的として、文学研究科、理学研究科、国際関係学研究科を設置し、高度な専門性、研究能力を持った研究者を育成しています。

本大学院では、この目的と教育課程をよく理解し、それぞれの研究科の教育課程を履修するために必要な学力を備え、研究を進めるのにふさわしい研究テーマと能力をもつ女性を広く受け入れます。

【文学研究科 英文学専攻】

本研究科では、イギリス文学、アメリカ文学、イギリス文化、アメリカ文化、英語学、異文化コミュニケーション学、英語教育、英語教育実践研究の専門分野において、さまざまな経歴・年齢層の学生が協力し、切磋琢磨しながら、研鑽を積んでいます。伝統と高い研究水準を誇る本研究科は、これらの分野における研究をさらに深めようと志す女性にとって理想的な環境を提供しています。

[修士課程]

修士課程では、イギリス文学、アメリカ文学、イギリス文化、アメリカ文化、英語学、異文化コミュニケーション学、英語教育、英語教育実践研究の各専門分野において、幅広い専門的知識と英語で学術的に論じる力を獲得して、それぞれの研究分野における研究能力および高度な専門的職業に必要な能力を養うことを目指す者を広く受け入れます。

また、現職教員研修プログラムでは、研修期間やサバティカル制度を利用して、修士課程を修める意欲のある現職教員を受け入れます。

英語教育実践研究では、英語教育に関わるさまざまな教育機関において仕事を続けながら確実な実践力・研究力を身につけ、教育現場を改善・向上させていく意欲のある学生を広く受け入れます。

[後期博士課程]

後期博士課程では、イギリス文学、アメリカ文学、イギリス文化、アメリカ文化、英語学、異文化コミュニケーション学、英語教育の専門分野における深い専門的知識と英語で学術論文を執筆する力を修得し、自立した研究者として学問研究を続けていくこと、あるいは高度な専門的職業に必要な研究能力と豊かな学識を養うことを目指す者を広く受け入れます。

【理学研究科 数学専攻】

[修士課程]

修士課程では、自然科学や諸科学の基礎となるより進んだ数学に強い関心を持ち、専門分野における研究能力を養うことを目指す者、または、高度な専門的職業を担うための知識と能力の修得を目指す者で、それにふさわしい基礎的知識を持ち、粘り強く問題解決を試みようとする人物を広く受け入れます。

[後期博士課程]

後期博士課程では、数学の専攻分野において自立して研究活動を行う能力を養うことを目指す者、高度の専門性を持ち、数学の普及、社会的還元に関わることを目指す者を広く受け入れます。

【理学研究科 情報科学専攻】

[修士課程]

情報化社会を支える情報科学に強い関心を持ち、情報科学に関する基礎的な学力と英語文献の読み書きができる素養を備え、情報科学分野の研究能力、または、専門性を要する職業に必要な能力の修得を目指し、その修得に強い意欲をもつ者を広く受け入れます。

[後期博士課程]

情報科学分野で自立して研究活動を行う能力、あるいは高度に専門的知識を求められる業務を遂行するに十分な能力を養うことを目指す者を広く受け入れます。

【国際関係学研究科 国際関係論専攻】

[修士課程]

国際関係学研究科は、現代世界の諸問題を地域や具体的事象に即して学術的に解明できる専門家の育成という目的に沿って、自らの問題意識をもって研究したいという志をもった学生を積極的に受け入れます。

修士課程は、学部レベル以上のより深い研究をしたいと思うあらゆる学生に門戸を開いています。所定の単位を取得し、修士論文を完成するために必要な基礎的能力が求められます。

[後期博士課程]

国際関係学研究科は、現代世界の諸問題を地域や具体的事象に即して学術的に解明できる専門家の育成という目的に沿って、自らの問題意識をもって研究したいという志をもった学生を積極的に受け入れます。

後期博士課程は、研究者や高度に専門的な業務への従事を志望する学生を受け入れます。自立した研究活動や高度に専門的な業務に必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識を身につけ、博士論文を完成させる能力と意欲をもつことが求められます。

[文学研究科]

募集人員

英文学専攻	約5名	専門分野	イギリス文学 アメリカ文学 イギリス文化 アメリカ文化 英語学 異文化コミュニケーション学 英語教育
-------	-----	------	--

出願資格

次の各号のいずれかに該当する女性

1. 修士の学位を有する者及び2024年3月までに取得見込みの者
2. 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2024年3月までに授与される見込みの者
3. 文部科学大臣の指定した者
4. 本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

・出願資格3、4で出願する場合は、本研究科にて出願資格審査を行いますので、10月末までに本学入試課に必ずお問合せください。

出願期間

2023年12月11日(月)～2024年1月9日(火)(必着)

12月11日(月)～12月22日(金)、1月5日(金)～1月9日(火)については、土曜、日曜、祝日を除き、9:00～11:15及び12:15～16:00の間窓口でも受け付けます。

※受験に際し、病気・負傷や障害等のために、配慮を希望する場合は、出願期間の前にはできるだけ早く本学入試課に連絡してください。(ご希望の全てに対応できるとは限りませんので、ご了承ください。)

出願方法

出願書類の本学所定用紙を本学公式 Web サイト (<https://www.tsuda.ac.jp/>) からダウンロードし、すべてA4サイズで片面印刷してください。

ダウンロードができない場合は、本学入試課(Tel. 042-342-5120)に連絡してください。

【出願用封筒表紙】をA4用紙にカラー印刷したものを市販の角形2号封筒に貼付のうえ、出願書類をすべて入れ、「簡易書留・速達」で郵送、または本学小平キャンパス入試課窓口へ直接提出してください。

出願書類

- ・出願書類は黒のボールペンで記入してください。消せるボールペンは使用しないでください。
- ・出願書類はすべて紙媒体で発行された原本を提出してください。原本と指定されている出願書類を写しで提出することを希望する場合には、出願前に本学にて原本証明を受ける必要があります。原本証明を希望する場合は、本学入試課にお問い合わせください。
- ・出願書類のうち日本語、英語以外の言語で記載されたものは公的機関(大使館等)の証明を受けた日本語訳または英語訳を添付してください。日本語学校による翻訳の証明は認めません。
- ・一度提出された書類は返却しません。
- ・入学志願票とその他の書類の姓が異なる場合、戸籍抄本等もあわせて提出してください。

○＝本学修士課程修了者、他大学修士課程修了（見込）者

◎＝本学修士課程修了見込者

○	◎	①入学志願票（本学所定用紙）【様式1】 ※志願票に記入された住所に、受験票や合否結果等の書類を送付しますので、正確に記入してください。 （国内の住所に限ります。） ※志願票に記入するE-mailアドレスのメール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあるため、@tsuda.ac.jp、@gm.tsuda.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
○		②修了見込証明書（他大学修士課程修了見込者のみ提出）
○		③調査書（本学所定用紙：出身大学長作成）【様式2】 ※本学卒業者は以下をご参照ください。 「各種証明書 大学院調査書について」 https://www.tsuda.ac.jp/student-life/certificate/index.html
○	◎	④受験票・写真票（本学所定用紙）【様式3】 ※縦4cm×横3cmの写真（無帽・上半身・正面、試験日前3ヶ月以内に撮影したもの。加工を施した写真やスナップ写真は不可。写真の裏面に氏名を記入）を所定の欄に貼付してください。 ※銀行の収納印が押されていることを確認してください。
○	◎ ※	⑤修士論文またはこれに相当するもの 正1部、複写1部 ・提出論文が日本語の場合は、1000 words 程度の英文レジュメを提出する。 ・修士論文以外に作成した論文（印刷されたものに限る。本学修士課程修了見込者も提出可）を参考資料としてあわせて提出することができる。
○	◎	⑥上記論文の概要【様式4】 （手書きの場合は本学所定用紙。PC（パーソナルコンピュータ）等を使用する場合はA4判で1000字以内） 正1部、複写1部
○	◎	⑦研究計画概要【様式5】 （手書きの場合は本学所定用紙。PC（パーソナルコンピュータ）等を使用する場合はA4判で1000字以内） 2部（コピー可。他に試験当日に1部持参）
○	◎	⑧在職機関代表者の承諾書 （在職中の者で、在職のまま受験する場合）

※本学文学研究科修士課程修了見込者は、学位を取得するために本学に提出した修士論文を出願書類として扱います。

入学検定料

30,000 円

振込用紙(本学所定用紙)【様式3】に必要事項を記入し銀行窓口より「電信扱」で振り込んでください。

※ATM、ネットバンキングおよびゆうちょ銀行からの振込は不可

いったん納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、P.14の「入学検定料返還について」に該当する場合を除きます。

試験日

2024年2月16日(金)

試験科目・時間

9:30～11:00	13:00～
英文和訳、和文英訳	面接

試験会場

本学（小平キャンパス）

筆記試験受験上の注意事項

1. 受験票は試験中必ず携帯し、試験室では常に机の右上に置いてください。
2. 受験者は試験当日、試験開始 20 分前までに所定の試験室に入室、着席してください。
3. 辞書機能や通信機能を備えた時計の使用は禁止します。
4. 携帯電話等は電源を切り、カバンの中にしまってください。
5. 遅刻が 30 分を超えた場合には受験できません。
6. 入学試験実施に際しての対応については、P.13 をご参照ください。

合格発表

2024 年 2 月 23 日（金） 可否結果は郵送（速達）で通知

可否結果は郵送（速達）で通知します。合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。なお、可否に関する問い合わせには一切応じません。

入学手続 合格通知書に同封されている「入学手続要項」にしたがって手続きしてください。

第 1 次入学手続 2024 年 3 月 8 日（金）（収納受付日有効）
上記期日までに「入学申込金（入学金相当額）」（所定用紙）を振り込んでください。大学への提出書類はありません。
ただし、「入学申込金振込証票 A」（銀行の収納印のあるもの）は、第 2 次入学手続に必要ですので、必ず大切に保管しておいてください。

第 2 次入学手続 2024 年 3 月 25 日（月）（消印有効）
上記期日までに「学費その他の納入金」を納入し、入学手続書類を提出してください。

本学修士課程修了見込者が同一研究科後期博士課程に入学する場合は、入学金が無料ですので、第 1 次入学手続締切日までに必要な手続はありません。第 2 次入学手続締切日までに「学費その他の納入金」を納入し、入学手続書類を提出してください。

入学手続に関する注意事項

1. 第 1 次入学手続時に第 2 次入学手続を同時に行うこともできます。
2. 入学手続締切日後の手続は、一切認められませんので、注意してください。
3. 2024 年 4 月 1 日（月）（郵送必着）までに入学辞退の申し出があった場合には、納入された入学申込金以外の学費（授業料・施設設備費）・その他の納入金を返還します。

本学教員への相談を希望する場合の問合せ先
津田塾大学入試課

TEL. 042-342-5120
E-mail: nyushi@tsuda.ac.jp

[理学研究科]

募集人員

数学専攻 約2名

情報科学専攻 約1名

出願資格

次の各号のいずれかに該当する女性

1. 修士の学位を有する者及び2024年3月までに取得見込みの者
2. 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2024年3月までに授与される見込みの者
3. 文部科学大臣の指定した者
4. 本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

- 出願資格2、3、4で出願する場合は、本研究科にて出願資格審査を行いますので、11月末までに本学入試課に必ずお問合せください。

出願期間

2023年12月11日(月)～2024年1月9日(火) (必着)

12月11日(月)～12月22日(金)、1月5日(金)～1月9日(月)については、土曜、日曜、祝日を除き、9:00～11:15及び12:15～16:00の間窓口でも受け付けます。

※受験に際し、病気・負傷や障害等のために、配慮を希望する場合は、出願期間の前に行えるだけ早く本学入試課に連絡してください。(ご希望の全てに対応できるとは限りませんので、ご了承ください。)

出願方法

出願書類の本学所定用紙を本学公式 Web サイト (<https://www.tsuda.ac.jp/>) からダウンロードし、すべてA4サイズで片面印刷してください。

ダウンロードができない場合は、本学入試課(Tel. 042-342-5120)に連絡してください。

【出願用封筒表紙】をA4用紙にカラー印刷したものを市販の角形2号封筒に貼付のうえ、出願書類をすべて入れ、「簡易書留・速達」で郵送、または本学小平キャンパス入試課窓口[※]に直接提出してください。

出願書類

- 出願書類は黒のボールペンで記入してください。消せるボールペンは使用しないでください。
- 出願書類はすべて紙媒体で発行された原本を提出してください。原本と指定されている出願書類を写しで提出することを希望する場合には、出願前に本学にて原本証明を受ける必要があります。原本証明を希望する場合は、本学入試課にお問い合わせください。
- 出願書類のうち日本語、英語以外の言語で記載されたものは公的機関(大使館等)の証明を受けた日本語訳または英語訳を添付してください。日本語学校による翻訳の証明は認めません。
- 一度提出された書類は返却しません。
- 入学志願票とその他の書類の姓が異なる場合、戸籍抄本等もあわせて提出してください。

○＝本学修士課程修了者、他大学修士課程修了（見込）者

◎＝本学修士課程修了見込者

○	◎	①入学志願票（本学所定用紙）【様式1】 ※志願票に記入された住所に、受験票や合否結果等の書類を送付しますので、正確に記入してください。 （国内の住所に限ります。） ※志願票に記入するE-mailアドレスのメール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあるため、@tsuda.ac.jp、@gm.tsuda.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
○		②修了見込証明書（他大学修士課程修了見込者のみ提出）
○		③調査書（本学所定用紙：出身大学長作成）【様式2】 ※本学卒業者は以下をご参照ください。 「各種証明書 大学院調査書について」 https://www.tsuda.ac.jp/student-life/certificate/index.html
○	◎	④受験票・写真票（本学所定用紙）【様式3】 ※縦4cm×横3cmの写真（無帽・上半身・正面、試験日前3ヶ月以内に撮影したもの。加工を施した写真やスナップ写真は不可。写真の裏面に氏名を記入）を所定の欄に貼付してください。 ※銀行の収納印が押されていることを確認してください。
○	◎ ※	⑤修士論文またはこれに相当するもの 正1部、複写1部 ・修士論文以外に作成した論文（本学修士課程修了見込者も提出可）を参考資料としてあわせて提出することができる。
○	◎ ※	⑥上記論文の概要【様式4】 （手書きの場合は本学所定用紙。PC（パーソナルコンピュータ）等を使用する場合はA4判で1000字以内） 正1部、複写1部
○	◎	⑦在職機関代表者の承諾書 （在職中の者で、在職のまま受験する場合）

※本学理学研究科修士課程修了見込者は、学位を取得するために本学に提出した修士論文及び概要を出願書類として扱います。

入学検定料

30,000円

振込用紙（本学所定用紙）【様式3】に必要事項を記入し銀行窓口より「電信扱」で振り込んでください。

※ATM、ネットバンキングおよびゆうちょ銀行からの振込は不可

いったん納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、P.14の「入学検定料返還について」に該当する場合を除きます。

試験日

2024年2月16日（金）

試験科目・時間

11:00～
修士論文及び専攻分野に関する口頭試問

試験会場

本学（小平キャンパス）

※入学試験実施に際しての対応については、P.13をご参照ください。

合格発表

2024年2月23日(金) 合格結果は郵送(速達)で通知

合格結果は郵送(速達)で通知します。合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。なお、合格に関する問い合わせには一切応じません。

入学手続 合格通知書に同封されている「入学手続要項」にしたがって手続きしてください。

第1次入学手続 2024年3月8日(金)(収納受付日有効)
上記期日までに「入学申込金(入学金相当額)」(所定用紙)を振り込んでください。大学への提出書類はありません。
ただし、「入学申込金振込証票A」(銀行の収納印のあるもの)は、第2次入学手続に必要ですので、必ず大切に保管しておいてください。

第2次入学手続 2024年3月25日(月)(消印有効)
上記期日までに「学費その他の納入金」を納入し、入学手続書類を提出してください。

本学修士課程修了見込者が同一研究科後期博士課程に入学する場合は、入学金が無料ですので、第1次入学手続締切日までに必要な手続はありません。第2次入学手続締切日までに「学費その他の納入金」を納入し、入学手続書類を提出してください。

入学手続に関する注意事項

1. 第1次入学手続時に第2次入学手続を同時に行うこともできます。
2. 入学手続締切日後の手続は、一切認められませんので、注意してください。
3. 2024年4月1日(月)(郵送必着)までに入学辞退の申し出があった場合には、納入された入学申込金以外の学費(授業料・施設設備費)・その他の納入金を返還します。

本学教員への相談を希望する場合の問合せ先
津田塾大学入試課

TEL. 042-342-5120

E-mail: nyushi@tsuda.ac.jp

〔国際関係学研究所〕

募集人員

国際関係論専攻 約3名

出願資格

次の各号のいずれかに該当する女性

1. 修士の学位を有する者及び2024年3月までに取得見込みの者
 2. 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2024年3月までに授与される見込みの者
 3. 文部科学大臣の指定した者
 4. 本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ・出願資格2、3、4で出願する場合は、本研究科にて出願資格審査を行いますので、10月末までに本学入試課に必ずお問合せください。

出願期間

2023年12月11日(月)～2024年1月9日(火) (必着)

12月11日(月)～12月22日(金)、1月5日(金)～1月9日(火)については、土曜、日曜、祝日を除き、9:00～11:15及び12:15～16:00の間窓口でも受け付けます。

※受験に際し、病気・負傷や障害等のために、配慮を希望する場合は、出願期間の前にできるだけ早く本学入試課に連絡してください。(ご希望の全てに対応できるとは限りませんので、ご了承ください。)

出願方法

出願書類の本学所定用紙を本学公式 Web サイト (<https://www.tsuda.ac.jp/>) からダウンロードし、すべてA4サイズで片面印刷してください。

ダウンロードができない場合は、本学入試課(Tel. 042-342-5120)に連絡してください。

【出願用封筒表紙】をA4用紙にカラー印刷したものを市販の角形2号封筒に貼付のうえ、出願書類をすべて入れ、「簡易書留・速達」で郵送、または本学小平キャンパス入試課窓口[※]に直接提出してください。

出願書類

- ・出願書類は黒のボールペンで記入してください。消せるボールペンは使用しないでください。
- ・出願書類はすべて紙媒体で発行された原本を提出してください。原本と指定されている出願書類を写しで提出することを希望する場合には、出願前に本学にて原本証明を受ける必要があります。原本証明を希望する場合は、本学入試課にお問い合わせください。
- ・出願書類のうち日本語、英語以外の言語で記載されたものは公的機関(大使館等)の証明を受けた日本語訳または英語訳を添付してください。日本語学校による翻訳の証明は認めません。
- ・一度提出された書類は返却しません。
- ・入学志願票とその他の書類の姓が異なる場合、戸籍抄本等もあわせて提出してください。

○＝本学修士課程修了者、他大学修士課程修了（見込）者

◎＝本学修士課程修了見込者

○	◎	①入学志願票（本学所定用紙）【様式1】 ※志願票に記入された住所に、受験票や合否結果等の書類を送付しますので、正確に記入してください。 （国内の住所に限ります。） ※志願票に記入するE-mailアドレスのメール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあるため、@tsuda.ac.jp、@gm.tsuda.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
○		②修了（見込）証明書
○	◎	③成績証明書
○	◎	④受験票・写真票（本学所定用紙）【様式2】 ※縦4cm×横3cmの写真（無帽・上半身・正面、試験日前3ヶ月以内に撮影したもの。加工を施した写真やスナップ写真は不可。写真の裏面に氏名を記入）を所定の欄に貼付してください。 ※銀行の収納印が押されていることを確認してください。
○	◎ ※	⑤修士論文またはこれに相当するもの 正1部、複写3部〔他に複写1部を試験当日に持参すること〕 ・提出論文は日本語または英語で書かれたものに限る。 ・修士論文以外に作成した論文（本学修士課程修了見込者も提出可）を参考資料としてあわせて提出することができる。
○	◎ ※	⑥上記論文の概要【様式3】 （手書きの場合は本学所定用紙。PC（パーソナルコンピュータ）等を使用する場合はA4判で1000字以内） 正1部、複写3部〔他に複写1部を試験当日に持参すること〕
○	◎	⑦研究計画概要【様式4】 （手書きの場合は本学所定用紙。PC（パーソナルコンピュータ）等を使用する場合はA4判で1000字以内） 正1部、複写3部〔他に複写1部を試験当日に持参すること〕
⑧在留カードまたは特別永住者証明書の写し等、在留資格を証明する書類（外国籍の者のみ提出）		

※本学国際関係学研究所修士課程修了見込者は、学位を取得するために本学に提出した修士論文及び概要を出願書類として扱います。

入学検定料

30,000円

振込用紙（本学所定用紙）【様式2】に必要事項を記入し銀行窓口より「電信扱」で振り込んでください。

※ATM、ネットバンキングおよびゆうちょ銀行からの振込は不可

いったん納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、P.14の「入学検定料返還について」に該当する場合を除きます。

試験日

2024年2月16日（金）

試験科目・時間

10:00～
提出論文による面接

試験会場

本学（小平キャンパス）

※入学試験実施に際しての対応については、P.13 をご参照ください。

合格発表

2024年2月23日（金） 合格結果は郵送（速達）で通知

合格結果は郵送（速達）で通知します。合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。なお、合格に関する問い合わせには一切応じません。

入学手続 合格通知書に同封されている「入学手続要項」にしたがって手続きしてください。

第1次入学手続 2024年3月8日（金）（収納受付日有効）
上記期日までに「入学申込金（入学金相当額）」（所定用紙）を振り込んでください。大学への提出書類はありません。
ただし、「入学申込金振込証票A」（銀行の収納印のあるもの）は、第2次入学手続に必要ですので、必ず大切に保管しておいてください。

第2次入学手続 2024年3月25日（月）（消印有効）
上記期日までに「学費その他の納入金」を納入し、入学手続書類を提出してください。

本学修士課程修了見込者が同一研究科後期博士課程に入学する場合は、入学金が無料ですので、第1次入学手続締切日までに必要な手続はありません。第2次入学手続締切日までに「学費その他の納入金」を納入し、入学手続書類を提出してください。

入学手続に関する注意事項

1. 第1次入学手続時に第2次入学手続を同時に行うこともできます。
2. 入学手続締切日後の手続は、一切認められませんので、注意してください。
3. 2024年4月1日（月）（郵送必着）までに入学辞退の申し出があった場合には、納入された入学申込金以外の学費（授業料・施設設備費）・その他の納入金を返還します。

本学教員への相談を希望する場合の問合せ先
津田塾大学入試課

TEL. 042-342-5120
E-mail: nyushi@tsuda.ac.jp

入学試験実施に際しての対応について

入学試験の実施に際し、以下のような対応をとる場合がありますので、予めご了承ください。

1. 受験環境について

できる限り、公平で静ひつな受験環境の確保に努めますが、やむを得ず、以下のような対応をとることがあります。

①生活騒音（日常生活において通常起こりうる騒音等）に対して、特別な対応はしません。

《生活騒音の例》

- ・風音、雨音、雷鳴
- ・航空機、自動車、バイク、鉄道の騒音
- ・通過する緊急車両のサイレン
- ・工事の音
- ・廃品回収や物売りの類、およびイベント・選挙等のアナウンス
- ・動物の鳴き声
- ・空調や照明等、試験会場となる施設が通常発する音
- ・他の受験生の発する音（咳、くしゃみ、ためいき、^{はな}涙をすする音、筆記具を使用する際の音等）

②試験中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のカバンなどが特定できた場合、持ち主の同意なく試験監督者が試験室外に持ち出し、入試本部で保管することがあります。

③試験室の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備等）の違いなどは、合否判定の際、一切考慮いたしません。

④試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音等に対する申し出には応じられません。

⑤隣席の受験生がトイレに行く場合や、体調不良による入退室等、試験実施上やむを得ないと判断した場合には、試験監督者の指示により、席を立ていただくことがあります。またその場合でも、試験時間の延長はいたしません。

⑥他の受験生に迷惑と判断される行為がある場合は、不正行為とみなすことや別室受験を指示するなどの措置を講じることがあります。

2. 不可抗力による事故等について

大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害または火災、停電、新型インフルエンザを含む感染症、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります）、試験の延期等の措置をとることがあります。ただし、それによって生じた受験生負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。

3. 受験生への連絡について

上記2. の措置をとる場合の受験生への連絡は、基本的に本学公式Webサイト上で行います。

<https://www.tsuda.ac.jp/>

4. 感染症について

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や試験監督者等への感染の恐れがありますので、受験をお断りすることがあります。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をお断りした場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還はいたしません。

5. その他の注意

不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期等の対応措置をとることがあります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害については、原則として本学は責任を負いません。

入学検定料返還について

以下の1. 入学検定料返還請求事由のいずれかに該当し、かつ2. 手続方法により請求し、受理された場合のみ入学検定料を返還します。

1. 入学検定料返還請求事由

- (1) 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった。
- (2) 入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった。

2. 手続方法

返還を希望する場合は、本学入試課 (Tel. 042-342-5120) に連絡してください。入学検定料返還申請書を送付しますので、以下の書類を2024年3月14日(木) (郵送必着) までに本学入試課宛に簡易書留で送付してください。

- (1) 入学検定料返還申請書 (所定用紙に必要事項を記入)
- (2) 入学検定料振込領収書のコピー

3. 返還時期

2024年3月末 (予定)

被災した志願者に対する入学検定料免除について

津田塾大学では、被災地の志願者に対して進学のお機会をできる限り保障するため、被災の状況により入学検定料の免除措置をとることがあります。

入学検定料の免除措置を決定した場合には、本学公式Webサイト (<https://www.tsuda.ac.jp/>) を通じてお知らせしますので、確認してください。

学費・その他の納入金

2024年度入学者の入学金・学費(授業料・施設設備費)・その他の納入金は10月初旬に決定します。

文学研究科・国際関係学研究科 (予定)

(単位:円)

	入学手続時納入	10月中納入	初年度合計
入学金	200,000	—	200,000
授業料	前期 267,500	後期 267,500	535,000
施設設備費	前期 75,000	後期 75,000	150,000
計	542,500	342,500	885,000

理学研究科 (予定)

(単位:円)

	入学手続時納入	10月中納入	初年度合計
入学金	200,000	—	200,000
授業料	前期 295,000	後期 295,000	590,000
施設設備費	前期 82,500	後期 82,500	165,000
計	577,500	377,500	955,000

<修士課程>

本学学部卒業生及び本学学部卒業見込者の入学金は100,000円です。

<後期博士課程>

1. 本学学部卒業生及び本学修士課程修了者の入学金は、100,000円です。
2. 本学修士課程修了見込者の同一研究科後期博士課程入学金は、無料です。

1. 在学中の学費について
大学院（修士課程・後期博士課程）の在学中の学費は、定額方式を適用します。
2. その他の納入金について
津田塾大学同窓会費積立金 50,000 円（終身会費で初年度のみ納入、本学卒業・修了者及び本学卒業・修了見込者は不要）

個人情報の取り扱いについて

本学では、「個人情報の保護に関する法律」に基づき、個人情報の取り扱いには十分な配慮をしております。今回、出願及び入学手続にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、入学試験実施（出願処理・試験実施）、合格発表、入学手続と、これらに付随する事項を行うためのみに利用します。なお、出願受付、受験票の発送、合格通知書の発送などの業務を個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託することがあります。

また、入学手続時にお知らせいただいた個人情報は「津田塾大学同窓会費積立金」に係る手続のため一般社団法人津田塾大学同窓会に提供させていただきます。